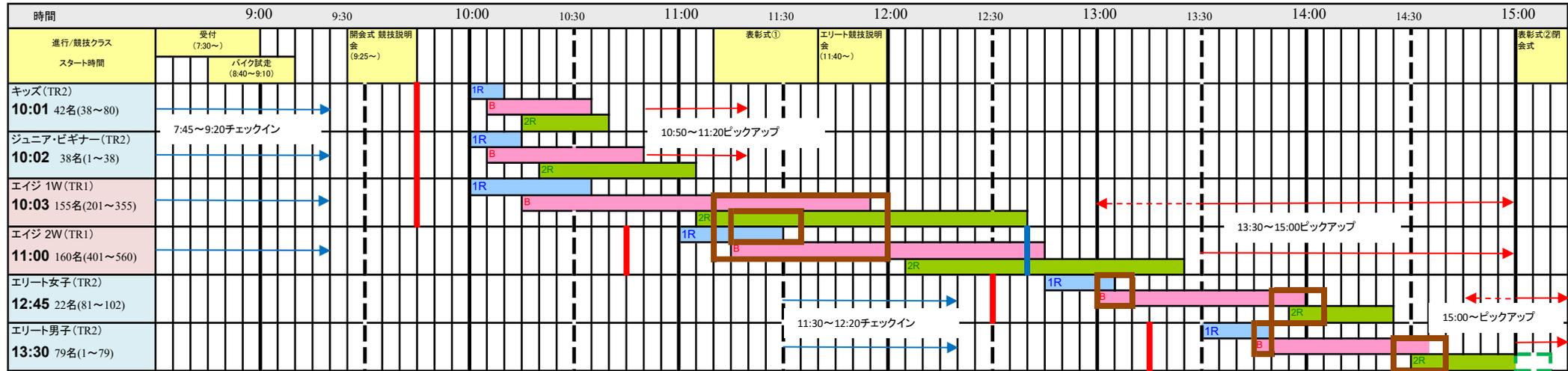


CalfMan Japan season20 南関東ステージ レース想定時程グラフ(トランジション用)

2023/1/19 更新



凡例 : (赤線) 召集時間

(青線) エイジ 2W バイク最終周回カットオフ → 第2ランへ移行

1R 第1ラン
B バイク
2R 第2ラン

トランジション注意時間帯

※エイジ 1W...エイジ男子(50歳代、60歳以上)、エイジ女子、学生オープン女子、シチズン
※エイジ 2W...エイジ男子(29歳以下、30歳代、40歳代)、学生オープン男子

1. TO 一覧

名前	ポジション	役割	連絡先
松村 一彦	チーフ	トランジション統括	無線 090-4202-2505
三井 はるみ	TR1 チーフ PB チーフ	TR1 統括 エリート時は PB へ移動	無線
押木 雅朋	TR1	三井さん PB 移動後、TR1 統括	無線確認中
松本 裕	TR1		
渡邊 純一郎	TR1		
清水 瑛大	TR1		
浅野 拓哉	TR2 チーフ	TR2 統括	無線
八下田 智恵子	TR2		
大谷 圭吾	TR2		
玉川 圭介	TR2		

※ TR 内での役割は、各 TR チーフの指示に従ってください。

※ 人数が少ないのでローテーションしてトイレ休憩、昼食の時間を確保してください。

※ TR1-TR2 間のやりくりも状況に応じて実施します。

特に、エリート男子のトランジション時間(13:45、14:25 付近)は、TR1 から TR2 へのシフトが必要になります。(2 名程度)

2. 業務ポイント

TR1(エイジ)

設営

- ・バイク出入口、ラン出入口とも、出入が重なる時間帯があるので、交錯しないよう仕切る

チェックイン

- ・トイレ裏側に入口を作って入場させる
- ・ヘルメットチェック
 - ・ストラップを締めた時に指2本分を超える余裕がある場合、矯正する
 - ・ナンバーシール前面・左右貼付確認
- ・バイクチェック
 - ・不要な装備は外してもらおう(カメラなど)
 - スマホはサイクルコンピュータとしての使用のみ可
 - リフレクターなどはずにくいもの、危険でないものは許容する
- ・ナンバーシールフレーム左右貼付確認
- ・DH バーは OK
- ・スマートフォン → サイクルコンピュータとしての使用は OK かどうか確認中
- ・ペットボトル使用禁止

レース中

- ・ストラップ違反チェック → バイクラックにバイクが無い状態ではずした場合、注意して矯正する
- ・レースナンバーチェック → ウェアの前後に装着されているか。
装着されていない場合、注意して矯正する
- ・前ジッパーウェアは可(フィニッシュ時にジッパーを上げるよう指導する)
- ・DNS、リタイヤについてはラックに印をつける

横断路管理

- ・芝生広場トイレ、トイレバイクコース方面の2箇所
- ・ボランティア 2名配置予定 → TO が指示、サポート

ピックアップ

- ・チェックイン出入口を使用
- ・レースナンバーとバイクナンバーの照合
- ・状況を見て 13:30 より早めることもある

TR2

(キッズ・ジュニア・ビギナー)

- ・バイクスタンド OK(キッズのみ)
- ・スタンドがない場合、バイクラックにひもをつけてサドルをぶら下げる(キッズのみ)
- ・バイクラックの目印としての飾り物は禁止
- ・DH バー禁止

(エリート)

設営

バイクラックから 50cm の箇所にガムテープでマーキングする(カゴの有無に関わらず)

チェックイン

- ・12:20 を過ぎてセットアップしている場合はペナルティ
→ 受付遅刻(30")、説明会遅刻(15")、チェックイン終了時刻オーバー(15")のペナルティ実施方法

方法は確認中

- ・尖ったエアロヘルメット禁止
- ・クリップオンハンドル禁止
- ・サドル位置が明らかに違反している場合は指導または矯正する

レース中

- ・ストラップ違反チェック → バイクラックにバイクが無い状態でストラップをはずす行為は、
ストラップに触れた時点でペナルティとする
発見時の声掛けを含め、対応については確認中
- ・収納違反チェック → シューズ以外の用具がカゴに入っていない場合はペナルティとする
シューズはバイクラックから 50cm 以内の場所になければペナルティとする
- ・エビデンスとして写真を撮る

- ・ペナルティは **TR2** チーフがまとめて **HR** および **PB** へ連絡 (LINE 利用予定)
 - 第2ランスタート後5分経過時点で、**PB** へ連絡する
- ・判定が困難な場合は **HR** に判断してもらう
- ・女子バイクフィニッシュと男子バイクスタートが重なる場合は、安全管理を優先する

横断路管理 (TR2 共通)

- ・**TR2** を出て、直線コースに出る手前の横断路1箇所
- ・ボランティア 2 名配置予定 → **TO** が指示、サポート

ペナルティボックス (PB)

エリートのみ適用でランコース上に設置

HR、**TR2** との連携により、対象レースNo.をボードに掲示する (マグネット)

→ 第2ラン3周目終了までに掲示。掲示時刻を記録する。

PB への入場は選手責任 (声掛けはしない)。

ペナルティは基本 15 秒

3. 備品

- ・メジャー (TR2で 50cm の範囲確認)
- ・トラメガ
- ・ガムテープ (2色) → DNS、リタイア選手のバイクラックへの印に使用
- ・マジック
- ・キッズバイク吊り下げ用紐 (TR2)
- ・予備の白紙レースナンバーカード、シール、ゴム紐
- ・PB 用具一式 (マグネット、ボード、ストップウォッチ)

※ メモとペンは各自用意をお願いします。